

Creative Cloud エクステンション 開発環境構築

作成日: 2017/12/05

作成者: 中島

更新履歴

更新日	更新概要	作業者
2017/12/05	・ 新規作成	中島
	・	
	・	
	・	
	・	

目次

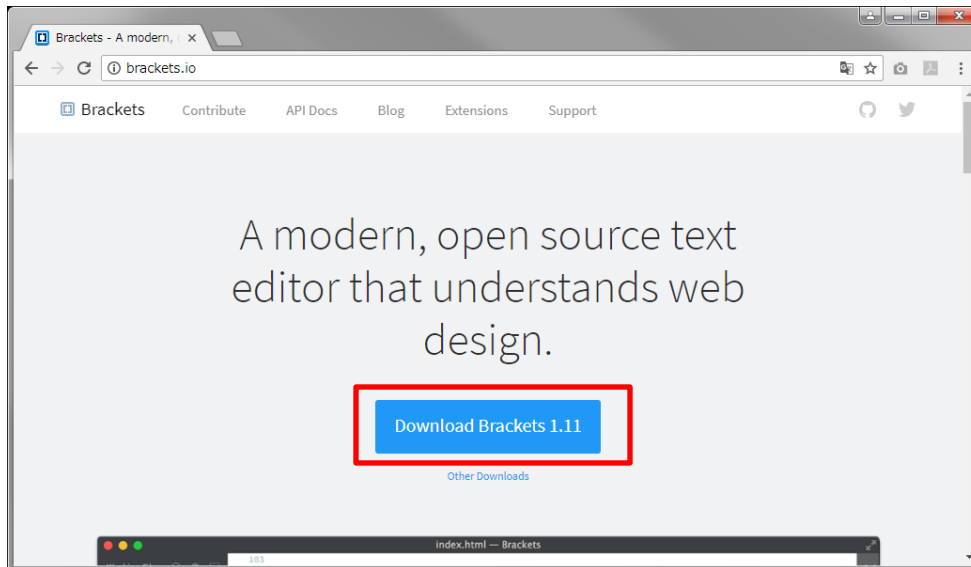
更新履歴	1
Brackets インストール	3
Brackets を管理者として実行するようになる	4
Creative Cloud Extension Builder プラグイン インストール.....	5
無署名エクステンションの許可を設定する	6
Adobe Extendscript Toolkit CC インストール	8

Brackets インストール

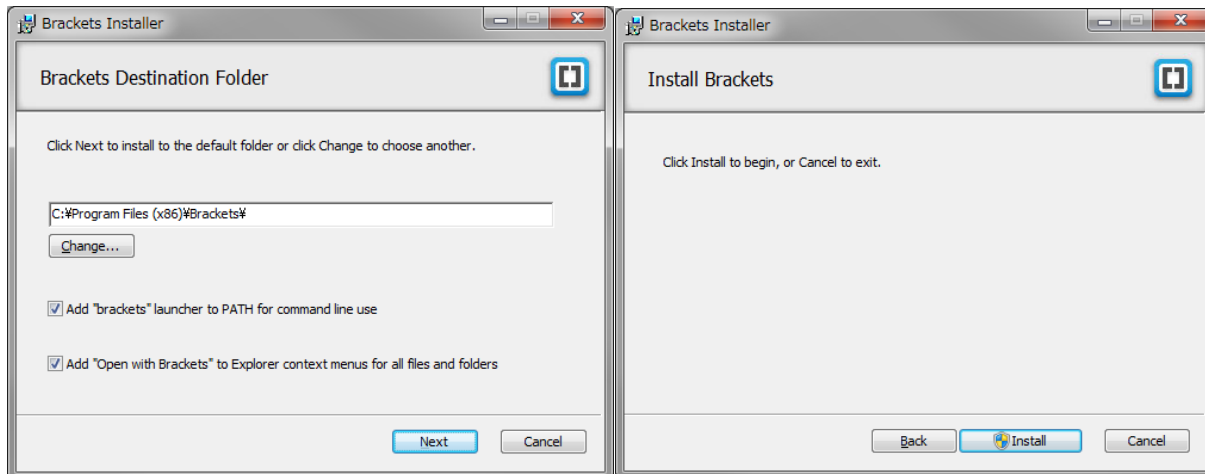
Brackets はウェブ制作用テキストエディタです。

1. 下記から Brackets のインストーラ(msi)をダウンロードします。

公式: <http://brackets.io/>



2. インストーラを実行し、チェックを両方外して(必要ならチェック)「Next」→「Install」と押してインストールします。

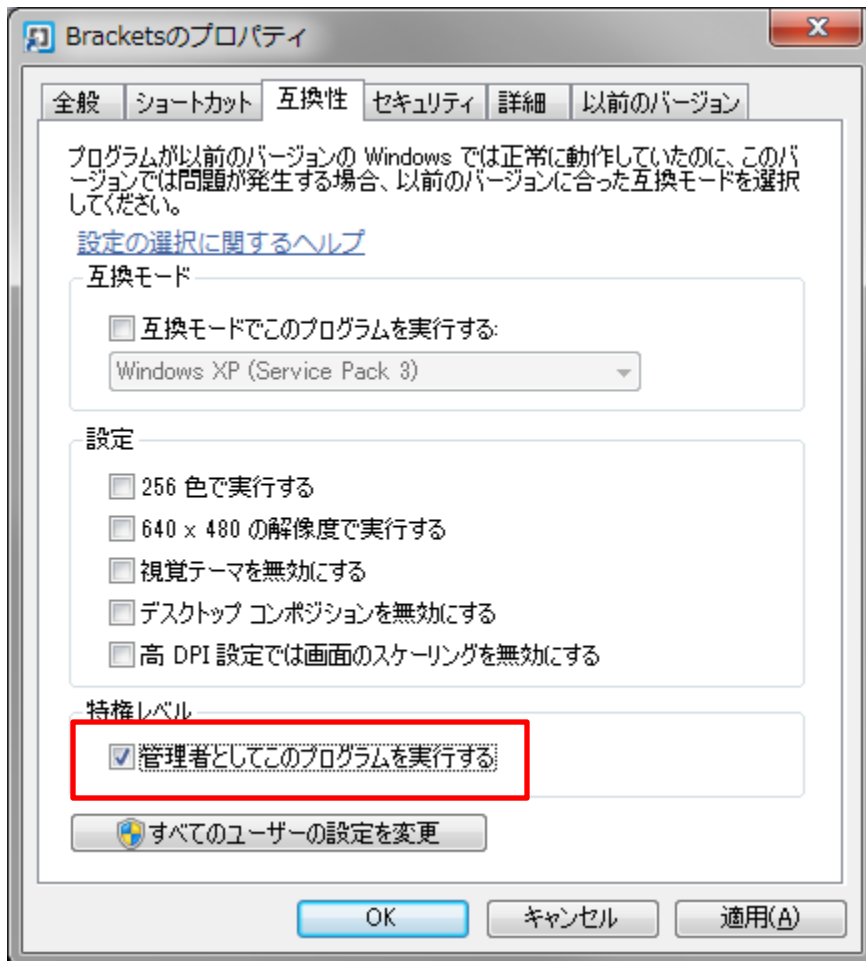


Brackets を管理者として実行するようにする

動作確認時に配置するフォルダ(※)は管理者でなければ編集ができないため、Brackets を管理者として実行する設定にします。

※C:\Program Files (x86)\Common Files\Adobe\CEP\extensions

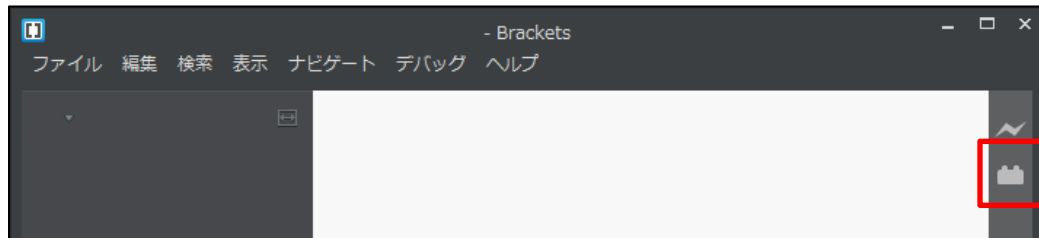
Brackets のショートカット等を右クリックし、「互換性」タブの特権レベルにチェックして「OK」を押します。



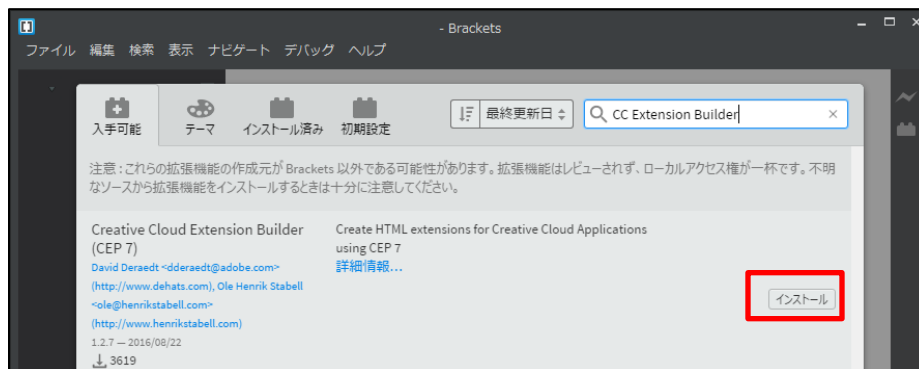
Creative Cloud Extension Builder プラグイン インストール

Creative Cloud エクステンション開発用の Brackets プラグイン「Creative Cloud Extension Builder」をインストールします。

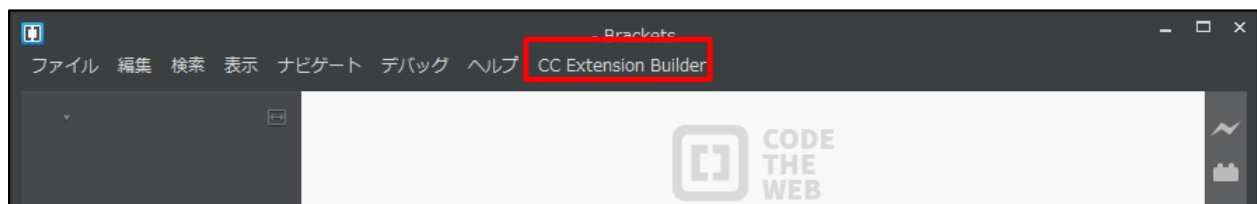
1. プラグインのマークを押します。



2. 検索欄に「CC Extension Builder」と入力し、「Creative Cloud Extension Builder (CEP 7)」をインストールします。(CEP 7 でないほうでも可)



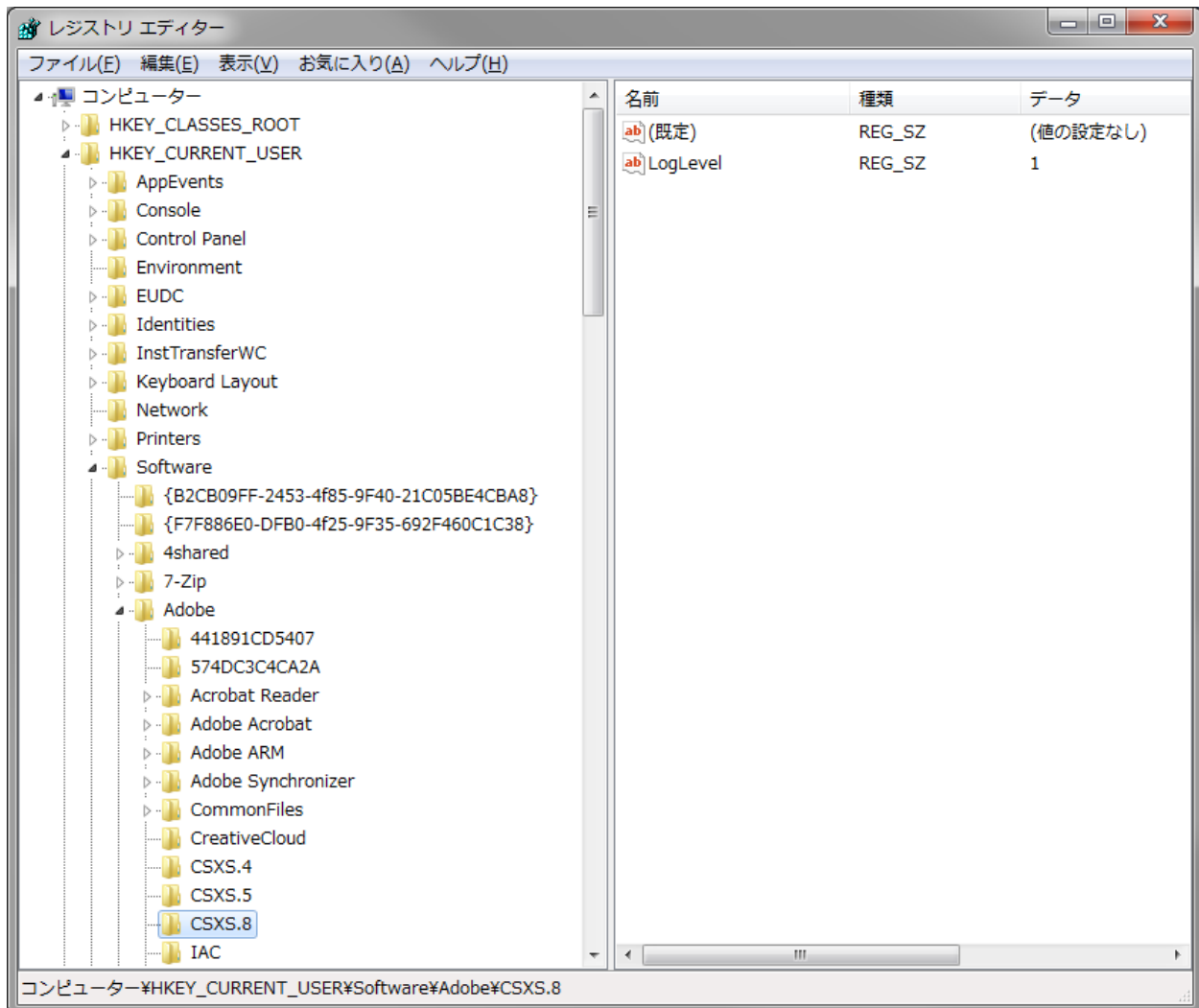
3. インストールするとメニューに追加されます。



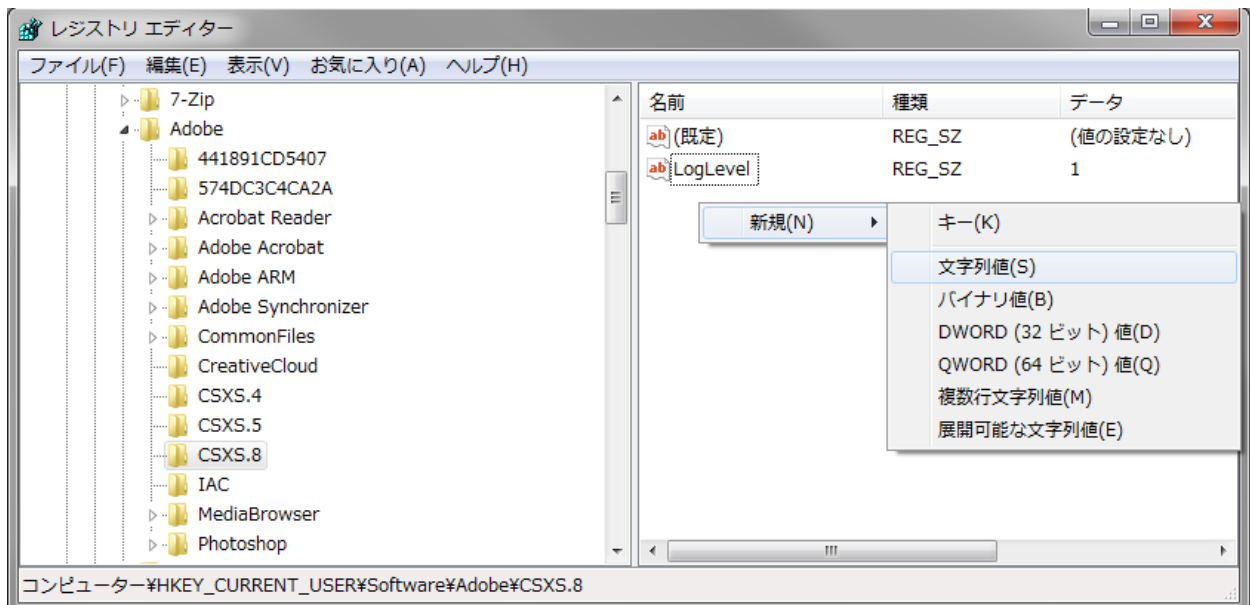
無署名エクステンションの許可を設定する

無署名エクステンションは Creative Cloud アプリ(Illustrator 等)上で動作しない(エクステンションを開いてもウィンドウが真っ白になる)ので、レジストリ エディターでデバッグ用の値を追加します。

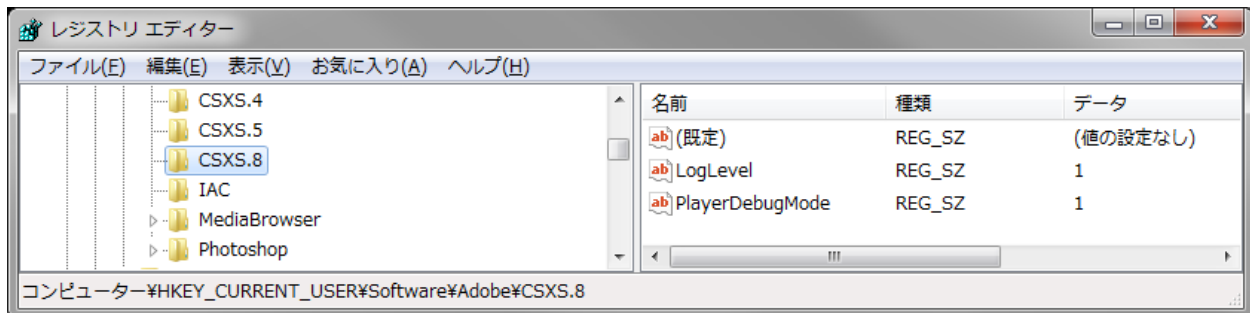
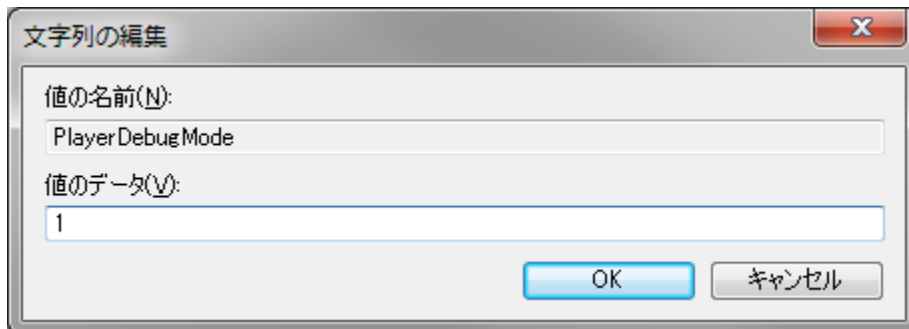
1. スタートメニューの検索欄に regedit と入力して regedit.exe を起動し、
HKEY_CURRENT_USER/Software/Adobe/CSXS.○を開きます。
CC(Ver.17)の場合: CSXS.4
CC2018(Ver.22)の場合: CSXS.8



2. 右側で右クリックして文字列値を追加し、名前を「PlayerDebugMode」にします。



3. PlayerDebugMode を右クリックして「修正」を押し、「値のデータ」を 1 にして OK すると完了です。



Adobe Extenscript Toolkit CC インストール

Adobe ExtendScript Toolkit CC では、起動済みの Creative Cloud アプリ(Illustrator 等)上でコードを実行したり、データブラウザでプロパティを確認できたりします。(無くても開発は可能)

Creative Cloud のウィンドウからインストールします。(下はインストール済みの状態)

